

山田米を守るための対策

米作りを行っている方々は、お米を守るためにたくさんの努力をされています。

1 台風対策

台風や災害から山田米を守るために、農家の方は、次のような対策をしています。

- 時期にもよりますが、稲が出始め頃までは、深水にします。（稲が倒れたり振動によったりするくず米くずの軽減をします。）
- 稲が出てからは間断かんがいをおこない、根の健全な生育を図っています。



2 病気対策

稲は気温や天気によって病気にかかりやすいので、次のような対策をしています。

- いもち病は、気温が低い年に発生しやすいです。でも、いもち病の対策は、1度発生すると、治療しても、完全に治すことが難しいのです。対策は、育苗ハウスやその周辺に張書のわらを放置しないように注意すること。さらに、補植用の取り置き苗のいもち病の伝源となるため、早めに処分することなどがあります。

- 特にいもち病は、農家を最も困らせる病気です。



☆ 農家の方々は、災害や病気からお米を守るために、毎日愛情を込めて栽培をされています。